

## 効率的な業務運営体制の構築について経営協議会開催 まずは非現業部門における業務体制の見直し

# リニア建設でやっぱり社員へしわ寄せがやってきた?!

本部は、10月11日「効率的な業務体制の構築について」経営協議会及び「非現業部門における業務体制の見直しについて」業務委員会を開催しました。会社はこの中で、「将来の当社鉄道事業領域は、東海道新幹線、在来線に加え、新たに中央新幹線が加わることとなる。そのため更なる効率的かつ筋肉質な業務運営体制の構築を推進する」と説明しました。

これは、リニア中央新幹線の建設・運営のために社員の働き度を更に高めようとするものです。会社曰く「キックオフ」としていることから、今後どしどしと、非現業部門を皮切りに、現業機関にも徹底した効率化が行われることは間違いありません。

平成 24 年 10 月 11 日  
東海旅客鉄道株式会社

### 効率的な業務運営体制の構築について

鉄道事業を営んでいくにあたり、効率化の推進は不断に取り組まなければならない課題であり、今後も業務執行全般にわたる効率化を進めていく必要がある。一方で、これまで諸施策を推進するにあたっては必要な要員の措置を講じるとともに、時代の変化や技術の進歩、世代交代の進捗などに応じて要員の構成や配置を変えることも必要の都度やってきましたところである。

将来の当社鉄道事業領域には、東海道新幹線、在来線に加え新たに中央新幹線が加わることとなるが、この中央新幹線計画は、当社の使命であり経営の生命線である首都圏～中京圏～近畿圏を結ぶ高速鉄道の運営を持続的に完遂し、企業としての存立基盤を将来にわたり確保していくために必要な計画である。この中央新幹線と東海道新幹線、在来線の3つの輸送を如何に効率的に行っていくかということは当社にとっての大きな命題であり、中央新幹線開業後の東海道新幹線、在来線を含めた営業や保守、非現業部門のあり方等を見据えた上で、この命題に対する対処を今から考えていく必要がある。

このような認識に立脚し、安全の確保を大前提としつつ、現業部門、非現業部門を問わず現行の業務運営体制における効率化の余地について全社を挙げて検証を行い、更なる効率的かつ筋肉質な業務運営体制の構築を推進する。

なお、具体的な施策やその実施内容等については、成案を得る都度、説明する。

以上

本部は、「効率化によって安全が損なわれたり、労働条件が悪化したり、社員の健康が損なわれたりするものであってはならない。その様な効率化には反対である。社員が安心して働ける職場環境があってこそ会社が発展するものである」と主張し、効率化については現場の状況を一番良く知っているJR東海労と議論し団体交渉で協議するべきだと主張しました。

皆さん、リニア中央新幹線の建設・運営のために職場で働く社員が犠牲にならないよう効率化の問題点に声を上げていこうではありませんか!

**中央新幹線の経営のために更なる効率化を宣言!**